最新の脊椎低侵襲手術
（片側２ポータル式還流型内視鏡システム）が施行可能となりました！

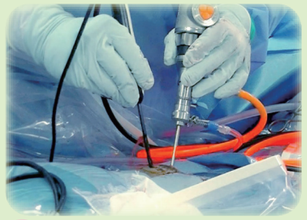
当院で施行可能となりました**最新の脊椎低侵襲手術**（人体の組織へのダメージが軽い手術）について紹介いたします。
全国的にも導入している施設は、まだ非常に少ない手術法です。
これまでの脊椎手術の低侵襲手術といえば、2cm ほどの切開で行う内視鏡手術が一般的でしたが、その欠点を解決できるようになったのが新しい内視鏡システムである**片側２ポータル式還流型内視鏡システム**（Unilateral Biportal Endoscopic spine surgery：**UBE** または Biportal Endoscopic Spine Surgery：**BESS**）です。
UBE は、5mm ほどの非常に小さな切開を２か所作成し、一方からはカメラのみを、もう一方からは操作器具のみを挿入するものです。
その利点は、

① 筒を使用せず、カメラの方向と操作の方向が独立しているため、**操作の制限が少ない**
② カメラが細く、これまでは見ることも触ることもできなかった**深い組織を手術できる**
③ 水を還流させるため、血液の貯留がなく組織判別良好であり**手術の安全性が向上する**
④ 操作の自由度が高いため、変形した関節も温存しやすく、**内視鏡手術の適応が広がる**

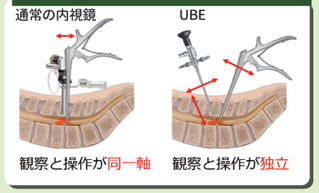
UBE のメリット：小皮切



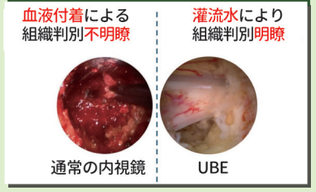
このように利点の大きい低侵襲手術であり、合併症のリスクも低いため、世界中で広がり始めた術式です。
日本では昨年、脊椎関連の学会が UBE 使用の資格を設定しており、当院では山下が資格を取得しています。
大変良い術式ですが、全ての疾患・患者さんに適応可能なわけではなく通常の手術の方が良い結果が得られることもあり、個別に説明させていただきますので腰椎疾患でお困りの患者さんはぜひ受診いただければと存じます。



UBE のメリット：視野と操作の自由度



UBE のメリット：灌流が組織明瞭化

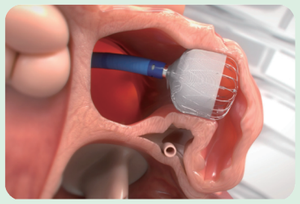




西宮脊椎センター長
山下 智也

WATCHMAN を用いた左心耳閉鎖治療

心房細動という不整脈の合併症として、心臓の中に血栓（血の塊）ができてしまうことがあります。その多くは「左心耳」という部分にできることが知られています。この血栓は心臓から血液と一緒に送り出され他の臓器に流れていく「血栓塞栓症」を起こすことがあります。心房細動による血栓塞栓症の代表的なものは脳梗塞です。
血栓塞栓症を予防するため、心房細動の患者さんの多くは血液を固まりにくくする薬（抗凝固薬）を飲む必要があります。 しかし、抗凝固薬を内服すると血が止まりにくくなるため、出血性合併症（頭蓋内出血、消化管出血、膀胱出血、性器出血など）を起こしやすくなり困る患者さんが少なからずいます。これまで、このような心房細動の患者さんでは、血栓塞栓症のリスクと出血リスクを天秤にかけながら、服薬をどうすべきか悩む必要がありました。
現在当院ではカテーテルという管を用いて心臓の中に「閉鎖栓」を持ち込み、左心耳に蓋をして血流を遮断することで血栓ができないようにしてしまう「**経皮的左心耳閉鎖術**」を行っています。出血リスクの高い心房細動の患者さんにこの治療を行うことで、**抗凝固薬内服の必要性を無くし、出血性合併症のリスクを下げることができます。**
出血でお困りの心房細動をお持ちの患者さん、並びにそのような患者さんを診ておられる地域の先生方は、ぜひ当院に一度ご相談ください。





担当医

♥ **伊藤 之康**（循環器内科）
外来：毎週水曜日 14:00〜16:30
毎週木曜日 9:00〜11:30

♥ **花澤 康司**（不整脈科）
外来：毎週月曜日 9:00〜16:30
第一土曜日 9:00〜11:30

法人関連施設

●社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院
西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック/西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック/介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ/グループホームてまりの家
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり
すくすく保育 わたなべ/ 訪問看護ステーション西宮わたなべ/訪問看護ステーション西宮わたなべサテライト/ 健康塾
通所リハビリテーション/ 居宅介護支援センター西宮わたなべ/西宮渡辺ヘルパーステーション/西宮市中央在宅療養相談支援センター

●社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ



わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。
当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】 社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199 【URL】 http://www.n-watanabe-hosp.jp/

社会医療法人渡邊高記念会 広報誌
わたなべニュース
Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine
11月 November
vol.136
2024.11.15

西宮渡辺病院　開院記念日に寄せて

「理事長 ご挨拶」 社会医療法人 渡邊高記念会 / 理事長 佐々木 恭子



11 月 1 日は西宮渡辺病院そして私共法人の創立記念日です。
皆様に多大なご迷惑とご不便をおかけしております法人内の増改築工事も何とか終盤に至っております。
皆様のご協力とご支援に感謝いたしますと共に心より御礼申しあげます。
何とか終息に至ったコロナ禍では、国々によって、国内においても地域によってその対応はそれぞれで、医療はその地域で暮らす人の心情や文化そして生活を無視しては成立しないものである事を日々確認させられる日々であった様に思います。
高齢者人口がピークとなる 2025 年問題、本格的な人口減少時代を迎える 2040 年問題等大きく変化する施作の中でこの地域の医療を守るため、私共の法人にできる事を一生懸命に考え実行する事、これが私たちの使命であると考えています。
西宮渡辺病院西側に昨年秋に完成した新棟での眼科、耳鼻咽喉科、口腔外科の診療も 1 年となります。
口腔外科では全身麻酔や入院加療が必要な歯科治療を、眼科では角膜移植等地域では中々やり難い治療も開始しています。
改修が終わり生まれ変わった外来では婦人科、泌尿器科の診療も始まりました。。
私共の強みである整形外科は常勤医総勢 12 名の体制で各々専門分野が確立された診療を行っています。脊椎の低侵襲手術や、関節、外傷それぞれの専門医による対応は地域に誇って良いものと認識しています。
11 月 1 日は「西宮渡辺心臓脳・血管センター東灘クリニック」の開院記念日でもありますが、
西宮渡辺心臓脳・血管センターは救急医療対応にとどまらず
前浜町にある「西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院」、
柳本町の「西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック」、
更には医師不足に悩む養父市の「八鹿病院への医師派遣」へと
循環器診療と、心臓リハビリテーション医療の輪を広げています。
西宮市もすでに人口減に突入し少子高齢化の極みに到達しています。
周囲を見渡すと未来への不安は増すばかりですが嘆いてばかりはいられません。
コロナ禍という災害から学んだ様々な経験を生かし、新しい未来を作っていこうと決意しています。
地域医療に貢献できる私達であり続ける事を願いつつ、ご協力ご支援の程より宜しくお願い申し上げます。



「院長 ご挨拶」 西宮渡辺病院 / 院長 佐々木 健陽



西宮渡辺病院は、昭和 40 年の開院から **本年で 59 年目**を迎えることとなりました。
長年にわたり地域の皆さまからの温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。当院は、常に地域の皆さまに寄り添い、質の高い医療を提供することを使命として歩んでまいりました。
昨年度には、外来診療部門の大規模な改築を実施し、より快適な診療環境を整備いたしました。さらに、婦人科や泌尿器科などの診療科を拡充し、幅広い医療ニーズに応えられる体制を整えています。
特に眼科では、散瞳しなくても眼底の状態を確認できる最先端の眼底カメラを導入し、９月からは角膜移植手術も開始いたしました。また、歯科では全身麻酔が必要な治療を行い、耳鼻咽喉科ではアレルギー性鼻炎に対するレーザー治療も行っています。これにより、地域の患者さまが遠方へ移動することなく、当院で高度な医療を受けられる環境が整いました。
放射線科では、最新の 3T MRI や CT を用いた精密な画像診断を提供しており、がんの早期発見や脳疾患の詳細な検査にも対応可能です。これらの最新技術を駆使し、患者さまに迅速かつ正確な診断をお届けしています。
私たちの目指すのは、すべての患者さまが安心して治療を受けられる医療環境を提供することです。今後も地域医療の中核として、皆さまの健康を支えるべく、スタッフ一同全力を尽くしてまいります。引き続き西宮渡辺病院へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺病院　開院記念に寄せて

社会医療法人 渡邊高記念会/ 副理事長　渡邊　慶明



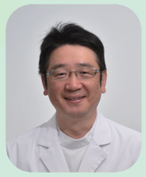
こうしてまた一年、年を重ねることができてとても嬉しく思います。
当法人は、私の祖父が地域の役に立ちたいという思いから設立されました。
そしてその祖父がこの病院の理念として選んだのが「敬天愛人」という言葉です。
この敬天愛人という言葉は、もともと西郷隆盛の言葉で“天を敬い人を愛する”と評されます。
先日、その祖父の家を整理していましたら、設立当初の写真がでてきました。まだモノクロ写真で、今よりもずっと小さな病院が、田んぼの中にぽつんとたっているような状態でした。そのような状態から、敬天愛人の精神を下に、これからこの地域に必要なものは何か、この地域の人に役に立つものはなにかを考え続けたことで、いまの法人があるのだなと実感した次第です。
今年はそのぽつんと立っていた頃から59年目の年を迎え、来年は節目の60周年を迎えます。この一年は60周年にむけて、いまこの地域に必要なものは何か、この地域の人に役に立つものはなにかを改めて考える一年としたいと思います。
皆様におかれても引継ぎ、ご助力、ご支援いただけたら幸いです。これからもよろしくお願い致します。

社会医療法人 渡邊高記念会/ 副理事長　佐々木 俊治



今年も地域の皆様のご支援の元、無事に開院記念日を迎えられたことを深く感謝申し上げます。
新棟の完成と同時に開設いたしました耳鼻咽喉科、口腔外科、眼科は、おかげさまで一年という歳月が経過いたしました。そして今年度は、婦人科を開設し、泌尿器科の外来を強化いたしました。これらの診療科が、既存の診療科とともに地域医療の一層の発展に貢献できるよう、尽力してまいります。
また今年度から医療の質の向上を目指し、看護師特定行為研修機関として、厚生労働省より認可を賜りました。
全国トップクラスの実習区分に認定されており、全国各地から多くの問い合わせを頂いております。
このように地域の皆様のために新たな取り組みを行い続けている当院ですが、常に大切にしているのは、地域に根ざした質の高い医療を提供し、地域社会のニーズに応えるという変わらない理念です。阪神淡路大震災、新型コロナウイルス感染症といった困難な状況下においても、地域の医療機関として、率先して行動してまいりました。今後も皆様にとって身近で頼りになる医療機関であり続けるために、全力を尽くしてまいります。
今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺病院/ 副院長　岡田 憲幸



毎年11月の開院記念日を迎えるたびに当院の歴史とその重みを感じます。
昨年この欄で「完成した新棟は眺望もよくホテルのよう」と感想を書きました。個人的には内視鏡室と化学療法室が関連深い部署ですが、どちらも大変使い勝手が良いと感じています。化学療法室は広くて、空席を見ると患者さんの数がもっと増えればよいと励みになります。この1年現時点までで大きく変わったのは、外来ブース、救急室、検査室の建て替え、新MRI設置です。ハード面だけではありません。
医師の数は2019年に私が入職した時より軽く2倍以上にはなっています。外科は兵庫医科大学からの派遣で手術数は倍増の勢いです。婦人科も開設となり、今後他科の常勤医師も増えると聞いています。このようにハードソフト面で発展「激変」し続けている病院ですが、油断することなくますますのチームワークで皆さま頑張りましょう。

西宮渡辺病院/ 副院長　正田 悦朗



11月1日は開院記念日ですが、整形外科の現況を報告させていただきます。
整形外科は大きく脊椎グループ、関節グループ、外傷グループに分かれて診療にあたっています。
脊椎外科チームは多くの手術を行なっていますが、低侵襲で行える新しい内視鏡手術も始まりました。脊椎の圧迫骨折に対しては、早期の起立、歩行を可能とする目的で骨折した脊椎にセメントを注入する治療も多く行われています。
人工関節センターでの手術は2000件を超え、毎週多くの膝関節や股関節の人工関節手術が行われています。
外傷チームでは、怪我をされた患者様ができるだけ早く離床、社会復帰できるように最新の治療を行なっています。高齢者の骨折では、骨折の治療ばかりでなく、高血圧、心臓病、糖尿病など合併症のコントロールも大切です。内科、麻酔科をはじめ、関連各科との連携をとりつつ、重症循環器疾患に対しては法人内の心臓脳・血管センターとの連携をはかって治療を進めています。
また、2024年4月からは滋賀医大関係の先生のご協力でスポーツ外来も始まっています。ただ、まだ多くの方に来ていただいているわけではなく、私たち常勤医師がまず受け皿となって専門の先生に院内で紹介するという必要があるように考えています。
開院記念日を機に、スタッフ一同気持ちを新たにして診療を行なっていきたいと思っています。

第 122 回 循環器診療セミナーを開催しました



10 月 10 日 「**第 122 回 循環器診療セミナー in 西宮**」を西宮渡辺病院新棟 5 階大会議室にて開催させていただきました。
一般講演では、西宮渡辺心臓脳・血管センター **副管理者 兼 放射線科統括部長**の渡邊 慶明 医師より『**Dual-energy CT を超えて：Photon Counting CT の革新と未来**』の「テーマで、また同センター**副院長 兼 循環器内科部長**の**山根 崇史** 医師より、『**当院における循環器救急の取り組み**』のテーマで講演を行いました。
特別講演としましては、**徳島大学 大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野 教授 佐田 政隆先生**にお越しいただき、『**徳島県民の健康寿命の延伸と循環器病による死亡率の低下に 向けての取り組み 〜心疾患地域連携ネットワークと脳卒中・心臓病等総合支援センター〜**』のテーマで御講演頂きました。
当日は、43 名の方に参加をいただき、盛況に本セミナーを開催することができました。

新 任 医 師 ご 紹 介

西宮渡辺病院　消化器外科　**松原 孝明**　まつばら　たかあき



2024 年 10 月より西宮渡辺病院に勤務させていただきます、外科の松原孝明と申します。
卒後 10 年目で、以前は兵庫医科大学病院、下部消化管外科で勤務しておりました。
患者様にとって、より良い医療を行えるように精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

西宮渡辺病院　整形外科　**松下 隆義**　まつした　たかよし



本年 10 月より当院で勤務させていただきます整形外科の松下です。
地域の皆様のお役に少しでも立てるように頑張ります。
どうぞよろしくお願い致します。

西宮渡辺病院　歯科口腔外科　**岡田 理沙**　おかだ　りさ



本年１０月より西宮渡辺病院で勤務させていただきます歯科口腔外科の岡田と申します。
口腔外科で研修をし、その後クリニックにて一般歯科治療に携わっておりました。
地域の皆様に貢献できるよう精一杯頑張ります。
どうぞよろしくお願い致します。

西宮渡辺心臓脳・血管センター　心臓血管外科 部長　**大村 篤史**　おおむら　あつし



以前に当センターで勤務しておりましたが、縁あって再度 2024 年 11 月より心臓血管外科に着任いたしました。
成人心疾患、大動脈疾患、血管疾患を中心に経験を積んできました。
心臓血管治療は日々進歩しております。高水準の医療を地域の皆様に提供できるように尽力致します。
治療に際して、不安な点や疑問点があればなんなりとお尋ねください。

西宮渡辺心臓脳・血管センター　心臓血管外科　**門田 悠暉**　もんでん　ゆうき



10 月から心臓血管外科医師として赴任いたしました門田と申します．
東京医科歯科大学を卒業後，静岡，岡山の病院で研修を行いました．
1 日でも早く病院の業務に慣れて皆様のお役に立てるよう頑張りますので，どうぞよろしくお願いいたします．

西宮渡辺心臓脳・血管センター　救急科　**松下 和敏**　まつした　かずとし



兵庫県立西宮病院救急科より参りました松下と申します。
2024 年 10 月より半年間勤務させて頂きます。
患者様に親身に寄り添い、不安を和らげることができればと考えております。よろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター　救急科　**西村 美沙**　にしむら　みさ



2024 年 10 月より非常勤として、11 月からは常勤として当センターで勤務させていただくことになりました西村と申します。
救急科を専攻し、卒後 6 年目となりましたが育休にて約 1 年ぶりの復帰となります。
早く慣れて皆様のお役に立てるよう、精一杯がんばりますので何卒よろしくお願い致します。

ハイブリッド型手術室の入れ替えを行いました！

西宮渡辺心臓脳・血管センター



9 月より、シーメンス社の Hybrid OR 用血管撮影装置
ARTIS pheno EX に更新しました。

これまでのハイブリッド型手術室に比べて
①よりフレキシブルなアーム稼働
②多診療科（心臓 / 頭頸部 / 整形外科）手技への対応
③適正線量での高画質化
の優れた特徴があります。

